

年頭に当たって

平成 28 年が開幕しました。本年の12月5日は全日本写真連盟創立90周年の記念日です。その佳節に向けて「全日本写真連盟支部対抗戦」と「全日本フォトグランプリ」の二つのフォトコンテストが実施されます。埼玉県本部も「拡げよう写友の和」をスローガンに掲げてスタートし、昨年は、皆さまのご協力をいただき、全ての事業を成功裡に終了させる事が出来ました。2年目を迎える今年は、1 月に「写真教室」を計画した処、参加者募集の新聞掲載より半月で、100名の定員

90周年事業の内容

「フォトアサヒ」12月号に同封された「全日本写真連盟支部対抗戦」と「わが街・ふるさと全日本フォトグランプリ」の主な応募要項の内容を記してみます。

「支部対抗」

撮影期間:2015年1月～ テーマは自由
サイズは四つ切またはA4
一人1点、(地域本部、県本部主催のコンテスト入賞作品も応募可)
応募先:支部分をまとめ、県本部に送付
応募料一点500円
賞金(最優秀賞 支部30万円ほか)
締切り:5月31日(水)まで
「フォトグランプリ」への二重応募は不可

県本部委員長 佐藤親正

を超える応募があり、県本部の勢いを感じながら、皆様の絶大なるご協力にお礼とご報告を申し上げます。全国規模の事業も県本部の事業も支部の皆様と力を合わせて、楽しい挑戦をしてみたいと思っています。できれば「第1 回全日本写真連盟支部対抗戦」の優勝を埼玉県本部で勝ち取りたいと強く念願致しております。各支部で作品を良く検討し、優勝を目指して頑張りましょう。本年もよろしくお願いいたします。

いづれも最近期間の写真がメインとなります。会員の皆様は今からが撮影期間の旬(しゅん)となります。日ごろの腕を発揮していただきたいと思います。

「フォトグランプリ」

撮影期間:2015年9月～2016年8月
撮影地:在住県内に限る
サイズは、半切～A3または四つ切～A4
一人5点以内(地域本部、県本部主催のコンテスト入賞作品も応募可)
応募先:総本部事務局(朝日新聞東京本社)
応募料一人1000円
賞金(最優秀賞 100万円ほか)
締切り:8月31日(水)まで

「木幡の幡祭り」撮影会が行われる

県本部は12月5日・6日に福島県の二本松・木幡の幡祭りとおぶくま洞の撮影会を開催しました。あいにくの雨交じりの曇り空でしたが、参加は80名、大型バス2台に分乗して、勇躍、さいたま新都心を出発し、福島県の県境を越えると前方に、大きな虹のアーチが出現し、撮影会を歓迎するかの様で、車内から歓声があがりました。最初の撮影地はおぶくま洞。8,000万年の歳月をかけて創造された鍾乳洞の芸術品です。クリスマスツリーや幻想的な光に映える地底の鍾乳石を2時間撮影し、安達太良山山麓の岳温泉・ホテル鏡が池碧山亭へ着きました。乳白色の温泉で疲れをいやした後、懇親会では、地元在住の戸井田総本部理事が駆けつけてこられ、差し入れの福島の銘酒を囲んで写真談議に夜遅くまで花が咲きました。二日目は二本松市で開催された、950年の歴史と伝統を誇る日本三大旗まつり「木幡の幡祭り」の撮影です。

出立式が済み、幡競走のイベントののち、巨大な白幡を先頭に色とりどりの幡をなびかせながら山頂の木幡山隠岐津島神社を目指し、古式ゆかしき儀式にのっとり、宮司を先頭に、神官の白装束の行列が出立しました。熟した柿の木が点在する田園風景の中、それぞれが先回りして撮影ポイントで待ちかまえての撮影に熱中しました。次は安達ヶ原ふるさと村で江戸末期の武士の邸宅や養蚕農家を再現した田舎裏のある古民家で最後の撮影をして2日間の撮影会を終了しました。日本の伝統のまつり、自然への感謝を日々の暮らしに、活づかしている地元のひとびとと触れ合うことのできた楽しい2日間でした。

今年の撮影会は9月23日(金)～24日(土)外房・大原はだか祭りと決定しました。太平洋の荒波にたくさんの方々が乗り込んでゆくといい勇壮なお祭りです。ぜひ皆様の参加を期待します。

写真教室が開催されます

平成27年度の初心者向け写真教室が1月24日(日)、31日(日)の両日県央部のJR北浦和駅近くの北浦和ターミナルビルで開催されます。昨年11月28日(土)の新聞掲載後予定枠の100名の応募者があり、前回の写真教室に引き続き、県本部写真教室に対する熱心なニーズを感じます。第1日目は写真撮

県本部例会(2015.10.17)

平成27年度、秋の例会が10月17日(土)県民活動総合センターで13時15分から開催されました。川越祭など秋のまつりシーズンの真っ最中の開催でしたが、前年を上回る71名の出席者により開会の運びとなりました。

秋の例会上位入賞者 単写真の部

小林 進	川口	龍澤豊文	フォトいるまの
小林伸一	越谷	森下 裕	ネーチャー
山口欽一	越谷	小林正江	越谷
小林千津子	川口	阿部誠子	越谷
小林光江	越谷	小澤久美子	女性
不破隆夫	フォトいるまの	小澤秀敏	彩北
卯木郁朗	彩東		

単写真は新人の進出、組写真はベテランとすみわけの状況ですが、単写真の新人もおなじみになりつつある人も増えた感じで、上位進出のコツを修得されたのかなとうれしい推測です。



三浦恵美子さん司会進行

冬の県例会:2月21日(日)13:15分～県活の予定です。

支部写真展のお知らせ

(初日および最終日の開場時間の確認は県本部ホームページで。)

第1回フォトいるまの支部写真展

会期:1/20(水)～24(日)10～18時
会場:入間市中央公民館2F展示場
入間市市民会館併設 駐車場完備
連絡先:04-2963-6122 桜井百合子さん

第20回すいよう支部写真展

会期:1/28(火)～2/3(水)10～18時
会場:上尾市民ギャラリー
連絡先:048-722-9829 保科幸祐さん

影の実際、画像補正技術がメインで、県本部写真教室のスタッフが指導に当たります。第2日目は、エプソンの技術スタッフによるプリントの実際と仕上げ作品について林総本部理事による講評が予定されています。写真教室開催後、写真技術の研鑽を共にできる新しい仲間の増えることに大いに期待したいと思います。

組写真の部

小林千津子	川口	小林 進	川口
一瀬邦子	女性	服部清次	川越
坂巻時子	越谷	宮川綾子	川口
佐々木俊一	ネーチャー	進藤恵美子	川口
山口欽一	越谷		

出品がやや減っている感じの組写真の部ですが、講師の増田先生から、全体を見せるのではなく、イメージを断片的にとらえる写真の組み方、松本先生から、現在出品数の多い4枚の組写真について、より表現性の高い3枚の組写真の作り方、1枚の写真から、複数の組写真を仕上げる方法など、組み写真の作り方について貴重な講話がありました。組写真については、未経験者がなかなか入りづらい部門でもあり、定例の支部例会での支部のベテランの方の作品の例示や作り方のご指導をお願いします。

(支部写真展つづき)

第12回埼玉県ネーチャーフォト支部展
会期:2/16(火)～21(日)10～17:30分
会場:埼玉県立近代美術館 一般展示室3
(JR北浦和駅西口徒歩3分)
連絡先:048-885-3992 関 邦義さん

写真展・コンテスト入選者

第76回国際写真サロン入賞者決まる
海外37か国をふくむ8657点が応募された今年の国際写真サロンで、服部清次さん、白鳥正一さん、箕田勇さんが入選されました。おめでとうございます。

フォトアサヒ別冊「ワンランクアップするデジタルカメラ実践講座」発刊される

2013年4月号から2015年9月号まで、機関紙「フォトアサヒ」に連載された佐藤親正委員長の「楽しみ表現—自分流」写真講座が改題され、この度表題の単行本となって発刊されました。全日写連関東本部委員として県下有数の写真家の同氏が、フィルムからデジタルに至る写真遍歴の中で、現場から会得された撮影法から、最新のデジタル技術による実践的パソコンワークまでの貴重なノウハウをサンプル写真とともにわかりやすく解説しています。写真表現を目指すカメラマンに、この小冊子は役に立つに違いありません。ぜひ一読されることをお勧めします。(お問い合わせ:佐藤さん:090-4740-2947)

Kenko

SanDisk

埼玉県写真サロン・埼玉の自然フォトコンテスト協賛
(株)ニコンイメージングジャパン <http://www.nikon-image.com/jpn/>